

第39回田原市市民協働まちづくり会議 議事録要旨

1 日 時	令和7年3月18日（火）午後3時00分～4時30分
2 場 所	302会議室
3 出席者	別紙「出席者名簿」のとおり
4 連絡事項	1 報告事項 （1）令和6年度田原市市民活動支援制度の活用状況について （2）令和7年度田原市市民活動支援制度について （3）田原市民活動支援センターの運営について （4）市民活動だより VOL.33 発行 （5）企業・学生ボランティアについて （6）田原市市民協働まちづくり事業補助金交付要綱の一部改正について 2 その他 ○ 意見交換等 ○ 田原市市民協働まちづくり事業補助金の報告会・審査会

※委員の発言に対する回答・意見について

“⇒”で示したものは事務局の回答・意見

“➡”で示したものは報告者（委員、参加者）からの回答・意見

会議内容要旨

事務局：会議資料の確認

あいさつ

藤井会長よりあいさつ

1 報告事項

（1）令和6年度田原市市民活動支援制度の活用状況について

○事務局：資料1について説明。

《委員からの質疑・意見》

・物価上昇などもあるので、団体が利用しやすいよう田原市市民協働まちづくり事業補助金の補助額の増額を検討してほしい。

⇒チャレンジ枠の補助額については、今年度は5万円であったが令和7年度からは7万円に増額している。

・第38回の田原市市民協働まちづくり会議では、田原市市民協働まちづくり事業補助金についての情報発信が課題という話があった。令和6年度に補助金を活用した団体が制度を知ったきっかけを伺いたい。

⇒過去に補助金を活用している団体もいるが、田原市民活動支援センターに資金についての相談をして活用に至った団体もいる。また、田原市民活動支援センターの運営に関わっていた団体や、田原市市民協働まちづくり会議の委員として補助金を知っていただいた例もある。

(2) 令和7年度田原市市民活動支援制度について

(6) 田原市市民協働まちづくり事業補助金交付要綱の一部改正について

○事務局：資料2、6について説明。

《委員からの質疑・意見》

- ・田原市市民協働まちづくり事業補助金について、活用がない枠を統合しつつ、全体の予算は削らずに見直しが行われたことについて感謝申し上げる。

(3) 田原市民活動支援センターの運営について

○事務局：資料3について説明。

《渡会委員補足》

- ・昨年度と比較して相談件数が減少したことについては、しみんのひろばに関連する連絡方法の変更が大きいと思われる。今までは出展者に来ていただいて説明していたところを、今年度は田原市民活動支援センターが出向いたほか、SNSを活用するなどして対応した。
- ・田原市民活動支援センターについて、希望としては毎日オープンして、利用者の都合で利用しやすくなると良いと思う。

《委員からの質疑・意見》

- ・今後は田原市民活動支援センターの利用者だけでなく、現場に出向いたアウトリーチの件数も把握し、窓口の日数を増やしたほうが良いのか、アウトリーチを増やしたほうが良いのか検討すると良いと思う。

(4) 市民活動だより VOL. 33 発行

○事務局：資料4について説明。

《委員からの質疑・意見》

- ・市民活動だよりに掲載している田原市市民協働まちづくり事業補助金活用実績について、実績だけでなく事業の写真なども掲載できるとありがたい。
 - ➡今年度は補助金の活用団体が多く写真を掲載しなかったが、今後は小さくても写真を入れていくことを検討したい。(渡会委員)
- ・制度がしっかりしていると敷居が高いと感じる人もいると思う。田原市市民活動支援センターは委託料の制限の中で運営していると思うが、多くの方が相談など利用しやすい運用ができるとよい。センターのスタッフも外部へ視察に行くのもありだと思う。
 - ➡視察費や事務用品については市役所負担となっている。委託料は人件費が低いため、若い方が運営スタッフとして携わることが難しく運営できる人間が限られていると感じる。
 - しみんのひろばなどを通じて、火・土に限らず多くの方と関われる機会を作っていきたいと思う。(渡会委員)

(5) 企業・学生ボランティアについて

○事務局：資料5について説明。

《委員からの質疑・意見》

- ・全てのボランティアを掲載してほしいというわけではないが、学生・企業のボランティアだけでなく、地域のコミュニティ活動も範囲として意識してもらえると市民活動の範囲や意識が広がっていくと思う。

2 その他

○意見交換

各委員：資料7について説明。

《委員からの質疑・意見》

①渡会委員の報告について

- ・田原市民活動支援センター「みんなの声」について、田原市市民協働まちづくり会議で報告するほかに活用方法などは検討しているか。
 - ➡昨年度、「みんなの声」の中に「これらの意見を活用していないのか」という声があり、田原市市民協働まちづくり会議で報告することとなったが、その他の活用はしていない。(渡会委員)
- ・「みんなの声」はあくまで市民の意見を自由に書く場として運用するのか、公共性をもってルールを決めて行うのかを考えられるとよいと思う
 - ➡田原市市民協働まちづくり会議での報告は行うが、こちらは自由に意見を述べる場所に留まるため、具体的なご意見は提言箱に入れるよう注意書きを置いている。(渡会委員)

②橋本委員の報告について

- ・素晴らしい活動だと思う。男女共同参画として地域の役員を女性が行うといっても、一人だけというのは大変で、少なくとも数人いないと難しい。市民提案型委託事業の活動について、今後どのように発展していくのか伺いたい。
 - ➡人が集まりやすいよう、防災キャンプのような子供を連れて遊びながら学べる企画をしたいと考えている。(橋本委員)
- ・学校の授業で地域の役員とともに防災の授業を行ったが、やってみると面白かったという声があった。市民提案型委託事業についても継続的に実施いただけると良いと思う。
- ・市民提案型委託事業について、受託して実施しているということで、スタッフの人件費をつけられるようになると良いと思う。

③鈴木委員の報告について

- ・田原青年会議所は任期に1年のサイクルがあるということで、事業の継続が課題であると思うが、同じ熱量でなくともできる範囲で継続していただけるとありがたいと思う。
- ・子育て支援課との協働の例会について、行われた時期と参加者数を聞きたい。
 - ➡令和5年3月に開催。芝生で子育て支援を学べる巨大すごろくを行い、その周りでラグラウンドマルシェを行った。
参加者は300名程度で、参加者アンケートも60何件ぐらいの回答をいただいたので、70～80組になると思う。当初の目標である200～250名を超えて嬉しかった。
子育て支援課、親子交流館など多くの方に協力していただけたのもよかった。(鈴木委員)

○田原市市民協働まちづくり事業補助金の報告会・審査会

事務局：令和7年3月21日（金）田原市役所大会議室にて、田原市市民協働まちづくり事業補助金の報告会・審査会を開催することについて紹介。

《総括意見（藤井会長）》

- ・「しみんのひろば」は盛況と聞き、橋本委員からも積極的に活動いただき、青年会議所でも様々な取組をしていただいていると聞いた。令和7年度からの田原市市民協働まちづくり事業補助

金も新しいかたちで進めていくということで、今後に向けて期待できるような取組が確認できるような場になったと思う。

- ・愛知大学には何かやってみようという意識を持っている学生たちもいる。市民の方を主役としつつ、外部の方と繋がりながら市民活動が活発化していけると良いと感じた。

午後4時30分閉会